



東京全労協

2014年6月30日 65
東京都港区新橋6-7-1
川口ビル6F
TEL. 03 - 5403 - 1650
FAX. 03 - 5403 - 1653
発行人 纈纈 朗
定価 1部 10円

6・14米軍横田基地

横田基地をはじめとする在日米軍基地は、沖縄・日本・アジアから撤退！ パラシュート降下、軍事物資の宙吊り、編隊飛行訓練等を行うな！

梅雨の時期でしたが、6月14日は晴れて暑くなりました。集合場所の福生公園に実行委員会の呼びかけに応じて、120名の労働者・市民が結集し、米軍横田基地反対・オスプレイ配備反対の集会が行われました。

実行委員会の大森事務局長が司会を務め、主催者を代表して纈纈委員長が、取り巻く情勢と反基地・平和運動の重要性を丁寧に話され、闘いの成功と今後に繋げる運動を強く訴えました。

決意表明として、東京全労協の久保事務局長と東京労組の野中書記長から、沖縄の反基地運動と連帯した。

また、三多摩地域の組合の仲間を中心に、三多摩東水労、昭島市職員組合、全労働者組合、三多摩全労協、三多摩ピースサイクル、昭和シェル労組からそれぞれ挨拶を受けました。印象に残る発言は、シエルの川島さんの「東京にある横田基地に対して具体的なこうした行動こそが、本当の沖縄基地運動に対する連帯行動になる」との発言でした。

その後、集会決議文を採択して、高らかにシュプレヒコールを上げてデモに出発しました。宣伝カーの上を横断幕を掲げて訴えを解り易くして、横田基地前をデモ行進しました。

連帯の挨拶として、沖縄一坪反戦関東ブロックの木村事務局長と第9次横田基地公害訴訟原告団の福本団長から、沖縄の闘いの状況と横田基地の取り組みと基地被害の報告が詳しくなされました。

第2ゲート前で米軍基地司令官に対する申し入れ行動と、自衛隊に対する申し入れも行いました。最後まで、シュプレヒコールが途切れる事もなく解散地点までデモを貫徹した事を報告いたします。



米軍基地に向け元気にデモ行動

梅雨空も消え、初夏の日差しが照りつける中、6月17日、けんり総行動実行委員会の主催する東京総行動が行われました。

東京総行動 アベノミクスの雇用破壊と闘う

1972年の開始から157回目となる「東京総行動」は争議団・争議組合が主体となり、ともに支援連帯しつつ共同で取り組む1日行動です。

今回の総行動は6月3日と5日のJAL客室乗務員と乗員両控訴審における不当判決後のはじめての取り組みとなり、また安倍政権がまとめた新成長戦略素案

のひとつの柱でもある「残業代ゼロ」制度の議論が厚労省・労働政策審議会での日から開始された状況での中での行動となりました。さらにすぐ近くの総理官邸前では会期末を控えて、早朝から「戦争をさせない1000人委員会」と市民運動による集团的自衛権の行使容認の閣議決定に反対する抗議行動も取り組まれていました。

行動はJAL不当解雇撤回裁判原告団を当該とする国交省前からスタートしました。主催者である纈纈東

辺野古新基地建設阻止で 亀戸から錦糸町までデモ行進

6月26日、亀戸カメラプラザで「辺野古新基地建設阻止！沖縄と繋ぐ6.26東京東部沖縄集会」が開催され160名を越す人たちが参加した。

主催の「沖縄の闘いと連帯する東京東部集会実行委員会」は、1995年沖縄での米兵による少女暴行事件を契機に、東京大空襲を経験した東京東部地域・下町反戦の闘いの歴史と沖縄の闘いを結ぼうと結成され、東京東部地域の地域ユニオンや東京地公労東部や東部全労協の労働組合と市民団体が参加している。

集会は、東京地公労東部寺島副議長の司会で始まり、この6月に辺野古・高江・普天間の現地闘争へ参加してきた仲間より直近の報告とビデオ上映が行われた。

アピール・行動提起では沖縄一坪反戦地主会東部より緊迫した「辺野古新基地建設阻止闘争支援・カンパ」と「標的の村・東部上映会」が呼びかけられ、参加者全員の賛同のもと直ちに取り組みが開始された。

下町ユニオンの山本さんの音頭で団結ガンパローを行い亀戸駅前より錦糸公園まで、辺野古新基地建設阻止！普天間基地閉鎖！辺野古・高江支援連帯！集团的自衛権行使容認阻止！憲法9条解釈変更阻止！のデモ行進を行った。（雨宮）



NTT社前集会

京全労協議長と金澤全労協議長はそれぞれあいさつの中で控訴審の不当判決を厳しく糾弾し、最後まで闘い抜くことを表明しました。

山口乗員原告団団長は控訴審を闘ったほぼ全員が上告審も闘うことを報告し、今後の支援を訴えました。各労組・団体からは原告団とこれから固く連帯して闘

うとの表明がありました。国交省には、けんり総行動代表、両原告団長連名による「解雇撤回・争議解決に向けて日本航空に対する指導」を要請しました。

この日の行動も二つのコースに分かれて、計14か所での抗議・要請行動を取り組みました。解雇、不当労働行為、団交拒否、戦後補償、薬害救済、それぞれ課題の違いはあるものの、一つひとつの闘いが今日推し進められている安倍政権による雇用破壊、労働法制の改悪、労働者保護の形骸化、規制緩和と対決する取り組みとなりました。暑さに負けず、最後のトヨタ東京本社前集会まで全一日の行動を貫徹し、終了しました。

常任幹事・中村知明

